

竹西予州 三ツ房展

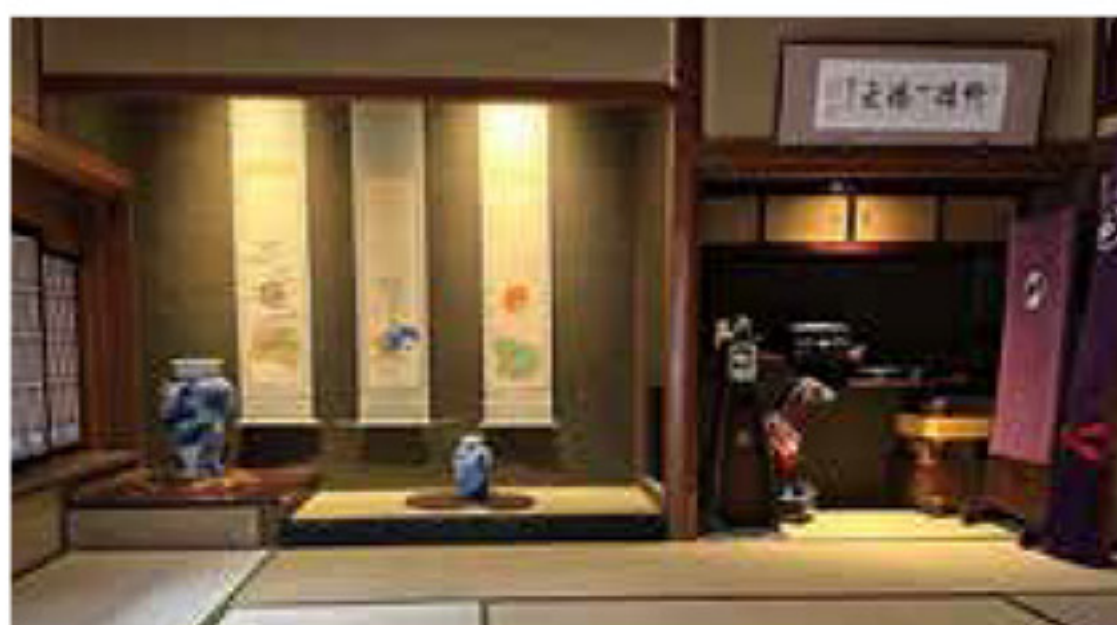
「青」の砥部焼伝道師

砥部焼陶芸家・竹西予州（辰人）は、砥部焼伝統の「呉須」を受け継ぎながら、「瀬戸内の海・伊予の空」を表現した深い青が美しい「ヨシユアブルー」を新しく作り出し、全国的な人気だ。経営する「ヨシユア工房」では、民藝的な食器など実用品を作る一方、美術工芸的に陶芸を極める物は、「竹西予州」個人で創作活動をしている。還暦を迎えたクリスチャン竹西が、伝統を守り、現代の感性を融合させた砥部焼の新しい世界を、今、世に問う。

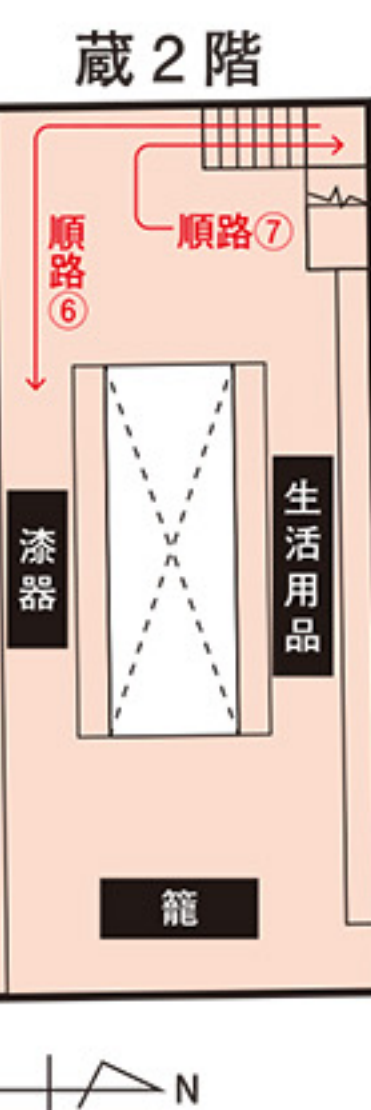
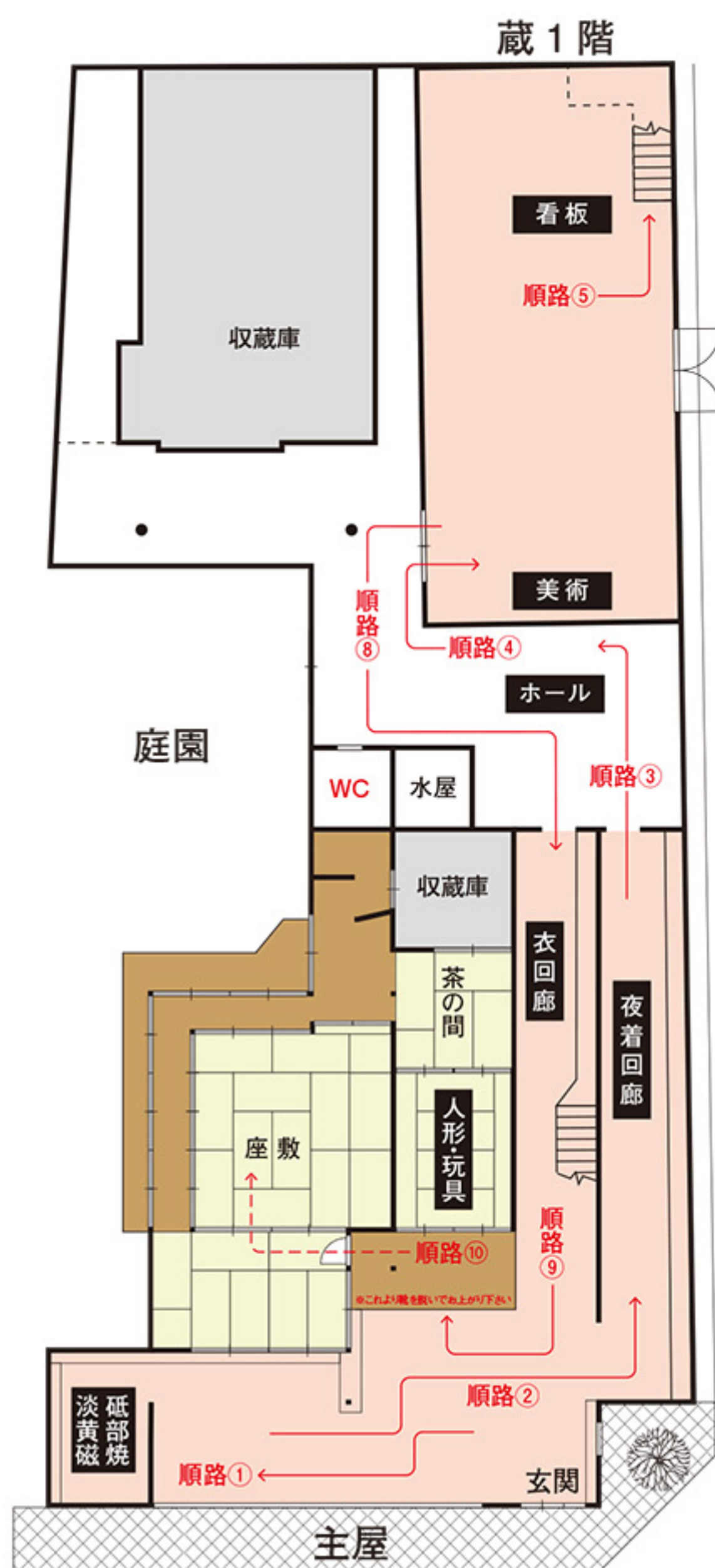


【砥部むかしの暮らし館】会期：2024年9月7日（土）～2025年1月26日（日）

〒791-2132 愛媛県伊予郡砥部町大南701 TEL.089-962-5258 開館時間10時～16時（入場無料）、土曜日・日曜日のみ開館



国登録有形文化財
砥部むかしの暮らし館
 TOBE OLD DAYS LIFE & ART MUSEUM
 SINCE 1905



「砥部むかしの暮らし館」(国登録有形文化財)は、明治三十八年(一九〇五)、現存する砥部焼窯元の最大最古の「梅山窯(梅野精陶所)のビジネス拠点(梅野商会)として創立されたのを前身とします。

主屋は、明治期の建築美が残る座敷や商家らしい帳場があります。蔵は、砥部焼製品の貯蔵と出荷作業専門に建築され、大きな吹き抜け構造などを特徴とする砥部では最古です。

この建物の中に、歴代当主が蒐集した江戸時代から現代までの暮らしに関する生活用具など約五万点が、収蔵展示され、ミュージアムとして観覧できます。中では、日本最大級コレクションの「夜着」(着物の形をした掛け布団)が圧巻です。「淡黄磁」「型染め」などの古砥部焼コーナーも見逃せません。また、江戸時代の駕籠を実際にかいたりできる貴重な体験コーナーもあるなど、随所に昔の暮らしを楽しく知り学べる場ともなっています。

〒791-2132 愛媛県伊予郡砥部町大南701 TEL.089-962-5258
 開館時間10時~16時(入場無料)、土曜日・日曜日のみ開館
 tobe-mukashi-museum.jp

■ 駐車場のご案内当館南側の『商店街来客用駐車場(無料)』をご利用ください。

